

原著

17世紀英国の商業・交易文献の語彙研究（1） — Oxford English Dictionaryの初出（Antedating）・ 最終（Post-dating）語彙について —

飯田 一郎*

<要 旨>

英国の海外進出が拡大する1600年代、英国商人が残した商業・交易文献、時の国王が発布した交易政策に関する文献は第一級の史的資料であるにもかかわらず *The Oxford English Dictionary*（以下 *OED* という）の文献資料として一部を除いて使用されることはなかった。そのため17世紀の商業・交易文献で使用されていた語彙には *OED* に無記載の語や、語彙の初出年代を訂正する例が数多く見うけられる。その中でも antedatings（歴史上、最も古く使用されたとされる *OED* の初出年代をさらに遡る語彙例）、post-datings（廃語となった語が最も遅く使用されたとされる *OED* の最終年代を更新する語彙例）が相当数見出された。

本論では17世紀の商業・交易文献の調査で確認された antedatings と post-datings の数を示し、そのうちの数例を商業・交易文献からの引用例と共に提示した。また、本論の調査事項は *OED* 第3版（2005年刊行予定）辞書編纂の追加資料として提供される予定である。

キーワード：商業・交易文献 オックスフォード英語大辞典 (*OED*) *OED* 初出年代 廃語の *OED* 最終年代

はじめに

Oxford English Dictionary 第2版20巻（以下 *OED* という）は英語語彙の語彙数、語義、語源、歴史的考察に関しては他の英語辞書の追随を許さない。また初期近代英語期（1500-1750）語彙に関しては英語学研究中に絶対的な典拠を提供してきた。*OED* が示す初出年代の正確度は5年前後の年代差を除けば、ほぼ90%の確率であると言われている。したがって、*OED* による語句の初出年代が英米文学作品の時代考証に使用され、その例文は数多くの英米文学、英語学研究論文に引用されてきた。

OED は歴史的原理に基づいて編纂された辞典である。すなわち、1150年（中英語の始まり）以後の英語の文献に現れるすべての共通語（Common Words）を収録し、その各語について古英語時代を含めて可能なかぎり過去にさかのぼって語形と語義を時代順に提示し、引用例文は必ず採用し、その後は少なくとも100年に1例の割合で用例を示し、現在廃語となっている語または語義の場合は最終例を収録している。¹⁾ しかし、初期近代英語期にあって当時の社会情勢を最も反映しているといわれる商業・交易に関する文献はほとんど使用されていない。1601年にロンドン商人によ

て議会に提出された *Treatise of Commerce* が *OED* の文献目録に掲載されているのみである。

17世紀、海外交易に携わった英国商人は、遺産を受け継いだ貴族の二男、三男や Gentry（貴族に次ぐ中流上層階級）が主な構成要素であった。これらの商人は当時最も高い教育を受けた人々であり、彼らが残した文書は当時の高い教育を受けた人々が記した英語を記録するものである。

そこで大英図書館（The British Library）の稀観本読書室（Rare Books Reading Room）、ロンドン大学（London School of Economics）の古文書室（Archives Room）、英国考古家協会（Antiquary Society）やギルド・ホール（Guild Hall）の図書館で17世紀英国商人が残した商業・交易に関する論文（*Treatise, Discourse*）、冊子（*Tract*）、嘆願書（*Petition*）及び、時の国王（James I, Charles I & II）が発布した交易政策に関する宣言書（*Proclamation*）、法令（*Ordinance*）等の原典121部の語彙を調査した。

調査の結果

1. *OED* の初出例を遡る語（antedatings）
2. *OED* で廃語となった語の最終例を更新する語（post-datings）
3. *OED* の見出語に記載されていない語（unregistered）

* 西南女学院大学人文学部 人文学科 助教授

lemmas)

4. *OED*の見出語にも例文にも一切記載のない語 (unregistered words)
5. 17世紀のみに特徴的に使用された商業・交易語彙 (terminology)

が見出された。

今回の論文では「17世紀英国の商業・交易文献の語彙研究(1)」で1. と2. の語彙を、以降「17世紀英国の商業・交易文献の語彙研究(2)」で3. と4. の語彙を、「17世紀英国の商業・交易文献の語彙研究(3)」で5. の語彙を取り扱う予定である。

I. 方法

A. Antedating 決定の方法と問題点

1. 初期近代英語(1500~1750)綴字(Spelling)の多様性

1600年代の英語は発音を基に英語が綴られ正字法(orthography)は確立されてなかった。そのため17世紀の文書に記された英語には多用な綴りが混在している。当時の交易・商業文献から収集した例を現代英語と共に示す。

17世紀文献の英語	現代英語
alwaics	always
antipacy	antipathy
cōmpany	company
eyther	either
emploiment	employment
forraine	foreign
fro	from
invoyce	invoice
lycence	license
oeconomicks	economics
phisitian	physician
prejuditiall	prejudicial
renew	revenue
scarsity	scarcity
traffique	traffic
verie	very
voyce	voice
vse	use
waight	weight
ynch	inch

以上のように音声や外国語(フランス語、スペイン語)の綴りに影響され、書き手によって多種多様な綴りがなされていたので、語彙の特定を間違えると antedating の決定に誤りをもたらすことになる。例えば、1694年の *A Brief Account of the Intended Bank of England* の文献に *milstone* という語彙が使用されている。²⁾ この語は現代英語の綴りでは *millstone* と *milestone* の二通りの語に書き直すことが可能である。仮に、*millstone* (石臼) と解釈すれば *OED* の初出年は1546年になるが、*milestone* (一理塚) と解釈すれば初出年は1746となる。*OED* の引用は下記の通り。

(1) *millstone* 1546 *OED* (2.)

"2. In phrases: *to see far in (into, through), to look into (through), to dive into a millstone*, used chiefly in ironical commendation of pretended extraordinary acuteness.

1546 J. Heywood *Prov.* (1867) 21 She thought Ales, she had seene far in a milstone Whan she gat a husbunde."

(2) *milestone* 1746 *OED* (1.)

"1. A pillar set up on a highway or other road or course to mark the miles.

a1746 Holdsworth *Virgil* (1768) 483 The first mile-stone on the Via Appia."

このような初期近代英語にみられる綴り字の不統一が、語彙の特定において多様性をもたせ、解釈を誤らせることになっている。その結果 antedating の決定にも誤りを生む原因にもなっている。

以下の語も綴りの不特定性が解釈に二重性を与える語彙である。

a. *communalty*

Communalty は1677、1681年の文献に掲載されている。*commonalty* (国民) と特定すれば *OED* の初出は1290年になるが、*communalty* (共同体) と特定すると *OED* の初出は1901になる。

b. *riband* (リボン) 1377 *OED* と *ribband* (造船用帯板) 1711 *OED*

c. *steelyard*₁ (外国商人の住宅地名) 1474 *OED*

*steelyard*₂ (竿秤) 1639 *OED*

still-yard (巨大数) 1725 *OED*

2. 語意 (Meaning) の解釈

英語の語や句には意味上、多様な解釈が可能である。これは社会、時代の変化と共に語彙が多様な意味を獲得してきたからである。例えば *business* は中世に *busy* か

ら派生し「多忙な仕事に従事すること」という意味から「役割」「機能」「事務」「業務」「職業」「家業」「商売」「商業」「事業」「業界」「店」「会社」「事件」「要件」まで多様な意味を獲得してきた。*OED*は意味ごとに発生した初出年を表記しその該当年度の文献から引用文を掲載しているの、意味を特定することが antedating の決定に重要な要素となる。

例えば、letter of credit は 1623 の *The Center of the Circle of Commerce* に使用されているが、「信用状」という意味では 1582 年が初出となる。「貿易信用状」では 1645 年が初出となる。

(1) letter of credit 1582 *OED* (credit, n.1) 信用供与書
 "2. c. *letter of credit*: a document recommending the bearer to confidence; = *letter of credence*.

1582 Lichefield tr. *Castanheda's Conq. E. Ind.* 2 a, Hee gaue them a Letter of credite"

(2) letter of credit? 1645 *OED* (credit, n.1) 貿易信用状
 "10. b. *letter (bill, † ticket) of credit*: a letter or document granted by a banking or financial establishment, authorizing the person in whose favour it is granted to draw money to a specified amount from their correspondents in other places.

1645 Evelyn *Mem.* (1857) l. 191, I took up ninety crowns for the rest of my journey, and letters of credit for Venice.

The Center of the Circle of Commerce, (1623) の例文は下記の通り。

"The First, concerning the King and the Nobility, Gentlemen and Travellers, who are here deliverers of money to serve their occasions beyond the Sea, or else they are takers up beyond the Seas by letter of credit, to their greater losse, when the price of exchange is low, or foraine coyne is inhauced or overvalued in exchange unto us, as is before declared in the first Chapter." (p. 45)

以上の文例には貿易に関する foreign coin, exchange の語彙が使用され、文脈からも貿易に関することを述べているので、letter of credit は「貿易信用状」と解釈することができる。よって、letter of credit は *OED* において 1645 年が初出であるが、1623 年の文献にすでに使用されていることから 22 年間 *OED* の初出を遡る antedating としての決定がなされる。

語意の解釈により初出年が変わる語彙例を下記に示す。

- a. free-port (地形的に障害のない港) 1567 *OED*
frce-port (a.) (自由貿易港) 1711 *OED*
- b. real estate (a.) (不動産) 1641 *OED*
real estate (n.) (土地から上がる地代) 1765 *OED*
- c. par of exchange (n.1.) (為替平価) 1622 *OED*
par of exchange (n.) (為替レート) 1864 *OED*
- d. price-current (時価 prise current) 1599 *OED*
price-current (価格表 price list) 1696 *OED*

3. Antedating と *OED* 無記載の語彙 (Unregistered Words)
The Grand Concern of England Explained, 1673, の文献に home-service という語が記載されている。

"The making whereof, for Home-Service and Foreign-Consumption, employed about 100000 Families, whose Livelihood depended upon the manufacturing of Leather, whereby they got Money, with which they maintained their Families, spent five or six good Joints of Meat in a week in their House, and wore good Clothes, thereby occasioning the Consumption of great quantities of the Provisions and Manufactures of the Kingdom, more than now are confirmed." (pp. 41-42)

OED の見出し語 home (n.1) では home-service の初出は 1939 年であり、その意味は「BBC ラジオ放送の番組の一つ」と記載されている。

(1) home-service 1939 *OED* (home, n.1 and a.)

"B. attrib. passing into adj. 2 e. *Home Service*, one of the programme services broadcast by the B.B.C. (see quot. 1966). Also *Home programme* and *ellipt.*, *the Home* (On 30 Sept. 1967 the name was changed to 'Radio 4'.)

1939 *Radio Times* 8 Sept. 3/1 In addition to the Home Service..two other British programmes are going out every day. One is a short-wave service to the whole world,..the other ashort-wave service meant primarily for Europe."

この意味では 1673 年の文献の文脈に合致しない。Service (n.1) には *OED* では 23 番目の語義に「供給」という意味があるので文脈から home-service は「国内供給」と解釈できる。しかしこの意味においては *OED* に該当する例を見出せない。しかるに home-service 「国内供

給」は *OED* において意味上、無記載の語彙 (unregistered word) となる。この unregistered words については前述したように「17世紀英国の商業・交易文献の語彙研究 (2)」で取り上げる予定である。

B. Post-dating 決定方法と問題点

OED は廃語 (obsolete) 扱いした語、語彙の最終例を収録している。*OED* の最終例の年代をさらに更新する例を商業・交易文献から収集し、post-dating であると決定する方法と問題点を示すこととする。

1. 綴り字 (Spelling) の多様性

綴り字 (spelling) の多様性に関しては antedating の A. 1. で述べているように初期近代英語 (1500~1750) 綴り字の多様性という同じ問題を扱うことになる。Antedating 同様に時代と共に変化する綴り字の特定を前後の文脈から正確に特定しなければならない。

2. 語意 (Meaning) の解釈

Defray (v.) の語意 † 1. († = obsolete = 廃語) は「廃語」扱いされ *OED* において 1613 年が最終例とされている。1613 年より新しい例が post-dating となる。下記は *OED* からの引用である。

" † 1. To pay out, expend, spend, disburse (money).

1613 R. C. *Table Alph.* (ed. 3), *Defraye*, lay out, pay, discharge. "

"2. To discharge (the expense or cost of anything) by payment; to pay, meet, settle

1868 *Freeman Norm. Conq.* (1876) II. ix. 404 The payment was defrayed out of the spoils."

商業・交易文献文においては下記 1662、1673 年の各文献に defray (v.) が使用されている。しかし、† 1 の語義は「お金を払う」という意味である。両文献の文脈で defray は 2. の語義「支払いによって清算する」の意味で解釈することが妥当である。よって両文献の defray は post-dating として取り扱うことはできない。

1662 *A Treatise of Taxes and Contributions*,

"...and if the number of Divines, Lawyers, Physicians, Merchants, and Retailers were also lessened, all which do receive great wages for little work done to the Publick, with hoe much greater ease would common

expences be defrayed?" (p. 11)

1673 *The Grand Concern of England Explained*

"Half the money that Gentlemen idly spend in Taverns upon French Wines, for which the Coin of the Kingdom is exhausted, or upon Playes, Bails, treating Mistresses, fine Clothes, Toyes from France, or other Foreign parts, would defray the charges of having good Suppers every night; whereby the product of our own Lands would be consumed, and that would raise Rents:" (p. 34)

このように文献の文脈にそって緻密に語意の解釈を行わないと ante-dating 決定の正確性が損なわれてしまう。

3. 歴史背景 (Historical Context)

Bombasine (n.) の語義 † 1 「原綿」は *OED* においては廃語扱いで 1580 年が最終年である。Bombasine が「原綿」という意味で 1580 年以降使用された例があれば、これは post-dating と決定される。語義 2. 「加工綿」は廃語扱いではない。以下 *OED* からの引用。

" † 1. Raw cotton; = bombace 1. *Obx.*

1580 *Hollyband Treas. Fr. Tong, Du Bombasyn*, Bombasin, cotton.

"2. A twilled or corded dress-material, composed of silk and worsted; sometimes also of cotton and worsted, or of worsted alone. In black the material is much used in mourning.

1831 G. Porter *Silk Manuf.* 299 Bombasin..a twilled manufacture, having its warp of silk, and its shoot of worsted.

商業・交易文献では下記の文献に bombasine の使用例が見られる。

1638 *The Merchants Mappe of Commerce, Part I*

"the greatest trade that is sound at this day exercise in Pegu, is from the coast of Cormandell with pintados, cotton cloth, and other bombasins much in request here;" (p. 195)

上記の文献文脈で bombasine が「原綿」として解釈されれば *OED* の 1580 年より新たな最新例として、上記 1638 年文献の bombasine が post-dating と決定される。文献中の Pegu は東インド会社の取引地である。当時の東

インド会社の積荷を調査してみると「原綿」を英国本土に運んだ記録はなく、「加工綿」が搬送された記録がある。これは17世紀の積載量が限られた貿易船では船倉を占めるようなかさばる原綿より綿布を積んだほうが運送効率が良かったからである。加工綿をインドから英国に運送したのは船舶が大型化された18世紀後半からである。³⁾ このように語義を決定するには歴史的背景を調べ上げねばならない語彙が存在する。

II. Antedatings

1. *OED*初出年と商業・交易文献の初出年との年度差による語彙数一覧

Antedatingsの語彙は417語を収録した。*OED*の初出年とこれを遡る商業・交易文献の初出年との年度差を50年単位で区分し417語をそれぞれの年度差別に仕分けし、その一覧表を作成した。

年数差	語彙数
0年	2
1年 - 50年	250
51年 - 100年	72
101年 - 150年	41
151年 - 200年	26
201年 - 250年	19
251年 - 300年	5
301年 - 350年	1
合計	416語

上記の表でわかるように年数差0の語彙数は2語。これは*OED*が使用した文献と本論で調査した商業・交易文献の資料が同じ年代に書かれていることを示す。この2語はexportationとvendingである。

Exportationの引用文献に関して、*OED*は1641年発行の*Nicholas Papers*を使用している。商業・交易文献では同じく1641年の*Petition & Remonstrance*から語を収集した。

Vendingに関して*OED*は1666年*Act 17 Charles II, C.5*「チャールズ2世による法令：第17号第5章」からvendingを収集している。商業・交易文献では1666年の*Proclamation, Charles II: 188*「チャールズ2世宣言書：第188号」からvendingを収集した。

417語中2語のみに初出年代が重複することは、本論で使用する商業・交易文献121部は*OED*によって資

料としてほとんど使用されていないことを示すものである。

年数差301年～350年の語はmoney-changingである。*OED*はmoneyの合成語(compound word)としてmoney-changingを1938年刊行の*Nineteen Stories*から初出例として引用している。一方、商業・交易文献には1623年の*The Circle of Commerce*に記載されたmoney-changingが見出された。これにより*OED*初出例より315年遡る例を見出すことになった。

2. Antedatingの語彙—羊毛産業、為替、銀行業務の語彙例

この章では第1章で作成した年数差区分に従ってantedatingsの具体例を提示する。論文の紙数制限上407語全てを提示できないので、当時の主要輸出産業である羊毛産業、黎明期を迎えていた為替及び銀行業務に関連する語を各区分からそれぞれ3語選んだ。表示方法は下記参照。

- 該当語句(太字表記)は見出し語表記
- OED*の初出年代>初出例のある商業・交易文献の年代、文献名
- 商業・交易文献からの引用文。引用文は17世紀の原典から引用しているので、当時のスペリングをそのまま記載している。
- Antedatingと定義するに問題のある語や時代背景の必要な語には*を付記し説明を加えた。
- 略語：n. 名詞 n1 *OED*で1番目に記載されている名詞
v. 動詞 a. 形容詞 Comm商業用語
OED (II. 10) *OED*で分類IIの10番目の語義

(1) 1年～50年

Bond n.1 (証書、証文)

1651 *OED* (n1) (II. 10.) > 1641a *The Treasure of Traffike*

“In the next place, it hath been noted mainly to further the traffike of a Kingdom, the transportation of bills of debt, from one man to another, in lieu of monies, as is used in some Countiries; for thereby many Law suits are avoided amongst Dealers, errors in Merchants accounts cleared, the Princes customes increased, the great stock of the Kingdome, which continually lyeth in all Negotiators hands in dead Bills and Bonds, employed, Traffike it self quickned, and such a benefit enjoyed thereby to the Common wealth, as cannot be expressed.” (pp. 53-54)

Comber *n.* (羊毛の梳き手)

1646-82 *OED* > 1647 *These things, following are so much concerning...*

“The Clothier buyes only short wooll, that provides not for Kent, Essex & Warwicke, the long wooll is for the Comber.” (p. 6)

Premium *n.* (打歩)

1695 *OED* (3. a.) > 1669 *Usury At Six per Cent.*

“Borrowers (saith he) will be few, either no man (say I) will be so mad as to lend at that premium, or we shall be so rich, wise, and industrious, no man I warrant you will be so vain as run into debt, live beyond his bounds, drink, drab, or dice.” (p. 39)

(2) 51年～100年

Recoin *v.* (改鑄する)

1685 *OED* > 1623 *The Circle of Commerce*

“For his Majesties Coyne may be carryed out, to bee recoyned abroad in forraine Coyne: and not remitted neither in comodities, nor by Exchange. Others that carry it out to remit it back, doe not respect the prices of Comodities whether they bee deare or cheape, so long as the Exchange affordeth them meanes to returne their money with advantage.” (p. 25)

Withdraw, *v.* (引き出す)

1776 *OED* (2. c.) > 1694 *A Brief Account of the Intended Bank of England*

“; nor will they ever make any Dividend out of their Profits, until after some Months notice, that such as apprehend the Security will be weakened therby, may have opportunity to withdraw their Effects, before the same be made.” (p. 11)

Woolsey *n.* (羊毛と亜麻の混紡布)

1737 *OED* > 1669 *England's Interest Asserted...*

“First, The combed of the English Wool makes Woosse for the Warpes of the French Wool, and so takes up (it may be) as much as the quantity above specified, to every Pack of English Wool, without which, they can (only) with their Wool make Rugs, and as the best, Cloth for Sea-men, and the like.” (p.5)

(3) 101年～150年

Acceptor *n.* (手形受取人)

1776 *OED* (2.) > 1671 *On a Tryal before the Lord Chief Justice Hales*

“That if the Bill were payable to Order, The Acceptor on payment of mony on the other Bill (the second Bill), might require security to indemnifie him from the Accepted Bill, or any trouble and charge arising by reason thereof;” (p. 17)

Liquidate *v.* (資産を流動化する)

1755 *OED* (3.) > 1652 *Certain Proposals*

“That Merchants and Shop-keepers bookes of Account be of unquestionable credit for liquidating or clearing debts, being demanded within a certaine terme of yeares...” (p. 21)

(4) 151年～200年

1806 *OED* > 1647 *These things following, are so much concerning ...*

Wool-grower (原羊毛生産者)

“...some counties of Cloathing had not taken notice thereof, nor the wool-growers and others concerned which if they did, they would appeare against it, and also thousands of Clothiers...” (p.2)

(5) 201年～250年

Parity *n.* (等価)

1886 *OED* (5. Comm.) > 1638 *The Merchants Mappe of Commerce, Part I*

“So by this knowledge of exchanging should all Princes coines be brought into one and the selfe same quality, and paritie, and be to him, as one and the selfe same coin; for if the allay or Standard of one Princes moneys, be finer or better than, the coines and moneys used in that place where the Merchant resideth, and his consequently courser of baser, the allowance given by exchanger, either in time, in price, or in both, makes up that disparitie, and settles thus a paritie between them, in drawing downe the one which is the finer, or raying up the other, which is the baser, to an even scantling, time and price giving the allowance to rectifie both the one and the other, in equalitie and true value.” (p. 47)

Order *n.* (注文)

1837 *OED* (24. c. Business) > 1601 *A Treatise of Commerce*

“...whereby the English Commodities were kept and holden in singular credit and estimation, & all kind of forreigne wares were returned, & brought in at reasonable & low price, not only to the good of the

Commonwealth of England in general, and the benefite of the M. M. Adventurers in particular, but also to the great satisfaction, contentment, & good liking of all the aboutsaid forreigne States & people: insomuch, that some great personage, drawne with the verie reporte of the seemly dealing, cariage, & orders of the Company of M. M. Adventures, have repaired to the Mart Towne, to behold & see the same.” (p. 45)

Warrantable a. (保証される)

1876 *OED* (3.) > 1639 *The Company of Distillers*

“...That the Rules and Directions therein contayned, are good and warrantable; and may safely be followed and practised, by all the members of Company”. (p. 3)

(6) 251年～300年

Society n. (商会)

1890 *OED* (10. d.) > 1623 *The Center of the Circle of Commerce*

“As I will not scatter any society or corporations, in that which proveth prejudiciall to the Common-wealth, so have I forbone to speake that which nevertheless is very considerable, and hath been observed by that worthy Councill or and Secretary of State, Sir Francis Walshingham, touching Corporations, where the absolute disposing of the Trade is left unto them, without the Prince his guide and direction for Commodities, Moneys, and Exchanges:” (p. 78)

Business n. (事業)

1888 *OED* (23.) > 1627 *Proclamation by Charles I* : 90/137 4)

“Whereas We (by the advice of Our Commissioners for Our Revenue) have resolved to import a quantity of Spanish Tobacco (not exceeding fifty thousand weight in any one yeere) and utterly to prohibite the importation of any other forreine Tobacco, which is not of the growth of Our owne Plantations, and to prohibite also the planting of all Tobacco within these Our Realmes of England and Ireland, and Islands thereto belonging or adjacent, As by Our proclamation, dated the seventeenth day of February last ((for the reasons therein expressed) it doth at large appeare: Now, because wee are informed, that it will much conduce to Our Service, and the settling of that business, for the preventing of the stealing in of all forreine tobacco... (p. 1)

*tabaco business = タバコ事業

Moderate a. (安価な)

1904 *OED* (a.) (3. c.) > 1641 *The Treasure of Traffike*

“...for though a Prince should for the ease of his people, and the augmentation of the trade of his Countrey, take but a small custom upon all forraine goods imported, and thus exported with the reservations mentioned in the second consideration of trade, yet he may have a moderate custome to be paid him, upon all goods vented within the Kingdome, as is now used England;” (pp. 63-64)

(7) 301年～350年

Money-changing (両替業)

1938 *OED* (7. b.) > 1623 *The Circle of Commerce*

“The latter, when money is exchanged for money, is called Mony-changing, when mony is bought with mony. and such Mony-changers, the Grecians called $\chi \sigma \lambda \lambda \upsilon \beta \iota \delta \omega$ and the Romans Numularii ; which wee Bankers or Exchangers of mony for mony with gaine.” (p. 94)

*300年以上の語は money-changing 一語のみ。

III. Post-datings

1. 廃語の *OED* 最終年と商業・交易文献上の最終年との年度差による語彙数一覧

Post-dating の語彙は 26 語を収録した。 *OED* の最終年と商業・交易文献の最終記載年との年数差を 10 年単位で区分し 26 語をそれぞれの年数差別に仕分けし、その一覧表を作成した。

年数差	語彙数
0年	1
1年—20年	10
21年—40年	2
41年—60年	7
61年—80年	1
81年—100年	2
合計	<u>23</u>

上記の表で0年の語は garble 1語である。 *OED* で garble の 2 番目の語義は “Merchandise containing an

admixture of refuse or waste.”「混ぜもののある商品」と定義されている。この意味では1638年が最終使用年度とされ廃語扱いとなっている。OEDの最終例文は1638年PenkethmanのArtahから引用されている。一方、商業・交易文献では同年出版のThe Merchants Mappe of Commerce, Part IIにgarbleの最終例を見出した。

2. Post-datingsの語彙例

この章では第1章で作成した年数差区分に従ってpost-datingsの具体例を提示する。論文の紙数制限上26語全てを提示できないので、各年数差区分からそれぞれ1語選んだ。表示方法は下記参照。

- a. 該当語句(太字表記)
- b. *OED*の最終年代<商業・交易文献の最終記載年代、文献名
- c. 商業・交易文献からの引用文。引用文は17世紀の原典から引用しているため、当時のスペリングをそのまま記載している。

(1) 1年~20年

Entertainment *n.* (人のもてなし)

1660 *OED* (5. Obs.) < 1673 *The Grand Concern of England Explained*

“These Travellers would disperse themselves into the several Inns upon the Road, each man where he could find the best **Entertainment**; whereby Trade would be diffused, Innholders be enabled to pay their Rents, and encouraged to provide accommodations fit for the reception of Gentlemen.”(p. 31)

(2) 21年~40年

Tantamount *a.* (等価)

1646 *OED* < 1677 *A Letter from a Gentleman*

“...all Bills, Bonds, and other good Securities will be **Tanta-mount** to ready mony...”(p. 58)

(3) 41年~60年

Post *n.* (郵便制度)

1596 *OED* < 1677 *A Letter from a Gentleman...*

“...and the Forrain Post brings News from all parts that they are before you, and have under-sold you in the same Commodities.”(p. 19)

(4) 61年~80年

Pursuer *n.* (包囲軍)

1578 *OED* < 1641 *The Treasure of Traffike*

“Fourthly, to safeguard the Ports, Harbours, roads, and Sea-Creeks, from them, to maintaine where is necessarie, fortifies places, to defend the pursued, and to offend the pursuer, to maintaine and conserve the keyes, Peeres, molds, and other places of moredge, fastenings, anchoredge, and the like, and to set up and maintaine, Beacons, Watch-Towers, Lights by night, Sea-marks, and Boyes, for the safeguard of Mariners sayling either by night or day.”(p. 46)

(5) 81年~100年

Peregrination *n.* (滞在地、巡礼地)

1609 *OED* < 1694 *A Brief Account of the Intended Bank of England*

“Another comes Cook-a-hoop, and tells ye, That he, or his Grandsire, Uncle, or some of the Race, have been abroad in some Country or other, and in all their **Peregrinations** they never met with BANKS nor STORKS any where, but only in Republicks. And if we let them set footing in England, we shall certainly be in danger of a Common-wealth. Nay, he goes further, and tells ye, That the very establishing of a Bank in England, will of course alter the Government, for that is to entrust the Fund of the Nation in the Hands of Subjects, who naturally are, and will always be sure to be of the popular side, and will insensibly influence the Church and State.”(p. 8)

おわりに

17世紀、英国が東インド会社を設立し、海外の交易拠点を拡大してゆく中で、英国商人が外国との交易拡大のために議会や国王に書いた文献、あるいは1694年設立の国営銀行、Bank of Englandに関する文献は貴重な歴史資料として扱われてきた。しかし、文学作品を中心に編纂してきた*OED*は商業・交易文献の一部(John Wheeler. 1601. *A Treatise of Commerce*.)を除きこれらの文献を使用することはなかった。これらの文献の中には当時の交易相手国(日本も含む)の地理、通貨、度量衡、現地の言語を700ページにわたって報告したLewes Robert. 1638. *The Merchant Mappe of Commerce*のような大著もある。

17世紀当時、英国商人が書いた商業・交易文献語彙に*OED*の初出例より古い例(antedatings)、*OED*によつ

て指摘された廃語の最終例より新たな例 (post-datings)、*OED*に記録のない語 (unregistered words) や意味 (unregistered meanings) を東洋の一学徒が発見、指摘できた。これは、「学究を志す者には国籍を問わず自由・平等である」として、あらゆる貴重な資料を閲覧させてくれた大英図書館に負うところが大きい。当研究で指摘してきた語彙は2005年刊行予定の *The Oxford English Dictionary*, 3rd Edition. に提供する予定である。

注)

- 1) 永嶋大典 『OEDを読む』 p. 198.
- 2) “Some who pretend to see further into a Milstone than others, will undertake to make it plain, that it will raise and enhance the price of Land, and utterly discourage and ruine Trade; For by this means, say they, all Real Securities will become current, or near as good as current, in or by the Bank;” (p. 8)
- 3) 「わが国(英国)で非常に手広く行われている木綿と絹工業のための原料は、外国から輸入されている。わが国の工業が他の国よりまさっているのは、必要な原料を輸入することができ、しかもそれを他国より安く労働者に提供できるからである。」(浅田 2001 p. 241)
- 4) チャールズ1世による布告書。113/117は大図書館の整理番号で、現存する117部中、113番目の資料であることを示す。巻末資料参照(実物の1/6縮小)

第一次資料 (Primary Sources)

- John Wheeler, *A Treatise of Commerce*, 1601.
 Dudley Digges, *The Defence of Trade*, 1615.
 Edward Misselden, *The Circle of Commerce*, 1623.
 Charles I, *Proclamation* : 113/137, 1628.
 Lewes Robert, *The Merchants Mape of Commerce*, Part I, II, III, 1638.
- *A Discourse Consisting of Motives for the Enlargement and Freedom of Trade*, 1645.
- Walter Raleigh, *Sir Walter Raleigh's Observation, Touching Trade & Commerce with the Hollander*, 1653.
- Charles II, *Proclamation For Payment of the Duty of Excise, together with the Arrears thereof*, 1660.
- William Carter, *England's Interest by Trade Asserted, Shewing The Necessity & Excellency Thereof*, 1671.
- George Clarke, *A Treatise of Wool, and The Manufacture of it*, 1685.
- Simon Clement, *A Discourse of the General Notion of Money*, 1695.
- John Toland, *Propositions for Uniting the two East-India Companies*, 1701.
- 他 109点
- The Oxford English Dictionary*. 1989. Second Edition, 20 vols. Oxford: Clarendon Press.

参考文献

- Armstrong, John. 1986. "Business Records at the Public Record Office." *The Journal of Business Archives Council*. No. 52. London: Tech-Print Ltd. pp.1-19.
- Clapham, John. 1951. *A Concise Economic History of Britain from the Earliest Times to A.D. 1750*. Cambridge: Cambridge University Press. pp.185-189.
- Davis, Ralph. 1973. *English Overseas Trade 1500 - 1700*. London: The Macmillans Press. pp.32-40.
- Hughes, Geoffrey. 1988. *Words in Time: A Social History of the English Vocabulary*. Oxford: Basil Blackwell. pp.67-90.
- Lindsey, W. S. 1965. *History of Merchant Shipping and Ancient Commerce*. 4vols. New York: AMP Press. pp.182-214.
- Schafer, Jurgen 1989. *Early Modern English Lexicography*. pp.1-35.
- Westerfield, Ray B. 1915. *Middlemen in English Business Particularly Between 1660 and 1760*. New Heaven, Conn.: Yale University Press. pp.158-166.
- Wright, Laura. 1996. *Sources of London English: Medieval Thames Vocabulary*. Oxford: Clarendon Press. pp.16-19.
- 浅田 實 『イギリス東インド会社とインド成金』ミネ
ルヴァ書房 2001年 pp.225-244.
- 深沢克巳 『近代ヨーロッパの探求9—国際商業』ミネ
ルヴァ書房、2002年 pp.105-112.
- 永嶋大典 『OEDを読む』大修館、1983年 pp.198-
200.
- 中野 忠 『イギリス社会史』Libro、1991年 pp.29-56.

to the ... - Chancell. H. J. 113
[Handwritten signature]
 113



By the King.

A Proclamation declaring His Maiesties Royall
 grace, and pleasure, to confirme to His Subjects their defectiue
 Titles, Estates, and Possessions, (aswell by colour of former Grants, as without
 any Grant from the Crowne) by His Commission
 granted to that purpose.



He Kings most Excellent Maiestie taking notice of the Act of
 Parliament made in the one and twentieth yeere of the Reigne of His
 deare and Royall Father, King James (of blessed memorie, lately decea-
 sed) Intituled, An Act for the generall quiet of the Subjects against all
 pretences of Concealments; By which Act the Subjects were, and are
 settled in the possessions of, and in those Mannours, and Lands,
 which they and their Ancestors had enioyed by the space of threescore
 yeeres next before the said Acte, other then such Lands, Liberties,
 and other Hereditaments in the sayd Act excepted, as by the sayd Act appeareth; The which
 was a grace and fauour, that none of his Predecessours yeilded vnto in former times: In re-
 spect whereof, His Maiestie might now in Justice, and reason, reduce to the Crowne all such o-
 ther Mannours and Lands whereunto His highnesse hath Right and Title, and which were
 not seled by the sayd Act, to the increase of His Reuenew; And the rather for that both His Maie-
 sties said deare Father, and himselfe, haue extended their grace to all such whom it might con-
 cerne, vpon easie compositions, to preuent their owne dangers, and yet the same hath bene neg-
 lected. Neuerthelesse, His Maiestie hauing nothing more in His Princely desire, then the generall
 good of His Subjects, preferring their peace and quiet before His owne benefite; is now graci-
 ously pleased once more to renew His sayd Commission to sundry of the Lords, and others of
 His Pruaie Counsell, and others of His Judges and Counsell learned, authorising them there-
 by to treat and compound on His Maiesties behalfe, for the selling, granting, and confirming

any defectue, voyd, or insufficient Graunts, or by Letters Patents of Concealments. As for those Mannours and Lands which they possesse, and enjoy meere by Intrusion, and Usurpation, without any colour of Right, and Title, they having had no Graunts thereof at all, either from his Maestie, or any of his Predecessours, and yet not settled by the aforesayd Acte: His Maestie expecting, that they will not now neglect this his grace offered, which if they shall doe, they must neither looke for further fauour from him, nor blame any but their owne negligences. And, that no man may pretend ignozance, how farre this grace extendeth, His Maestie hath hereunto annexed an abstract of the sayd Commission, whereby each one (whom it concerneth) may take knowledge for what, and how hee may be relieved, if in time, and by a due course he shall seeke the same. And his Maestie doeth further declare his Royall pleasure to be, that all persons (whom it may concerne) by this publique declaration of this his gracious pleasure, either voluntarily of themselves, or vpon Letters to be to them directed from his Maesties Commissioners, with a draught of the particular cases, take not at their perills to attend the sayd Commissioners, for such moderate and reasonable Compositions, as shall be found fit, and equall for them.

And his Maestie, the better to be informed who embraceth this his Royall grace, and who neglecteth the same, hath appointed and commanded Robert Typper, of Grayes Inne, his Maesties seruant, to attend his Maesties Commissioners, as in former times hee hath done, who is to acquaint his Maesties sayd Commissioners with the State of the severall Cases, of those that shall seeke a Composition, as aforesaid; And who doe accept this his Maesties grace, and who not, whereupon such further proceedings may be had for the maintaining of his Maesties Right, and Title, and increasing of his Reuenew, as shall be iust.

Given at Our Court at White-Hall this sixth day of December, in the fourth yeere of Our Reigne of Great Britaine, France and Ireland.

God saue the King.



Imprinted at London by Bonham Norton and Iohn Bill, Printers to the Kings most Excellent Maestie.

Vocabulary of Texts on Trade and Commerce in 17th Century England (1)

Ichiro Iida

< Abstract >

English merchants wrote tracts and treatises on free trade versus monopolized trade regarding the Merchants Adventurers who obtained patents by the King. English wool manufactures also wrote tracts and treatises against the Stapler's monopolistic distribution system. Therefore, many tracts, treatises and petitions on trade and commerce were published in the 17th Century to take advantage of free traders' profits and to lobby some bills through Parliament. On the other hand, King James I, Charles I and Charles II announced their Proclamations on Trade and Commerce. This mercantile literature is an indispensable resource reflecting the historical milieu of the 17th Century.

Since the *OED* (*The Oxford English Dictionary*, 2nd edition.) has not used this mercantile literature in its editorial bibliography, its antedatings (anterior instance of words and meanings to the *OED*), post-datings (posterior instance of words and meanings to the *OED*), unregistered lemmas and words can be discovered from them. Some antedating words are 300 years earlier than the *OED*'s instance.

This thesis focuses on the antedatings in Chapter I. and the post-datings in Chapter II. Each chapter shows methods of defining these antedatings and the post-datings, their numbers in chronological order and the sample quotations from representative mercantile literature.

The antedatings and the post-datings in this thesis will be submitted to the *OED*' editor, who compiles the 3rd edition of the *OED* due in 2005.

Key Words: The Oxford English Dictionary (OED), Postdating, Antedating, Unregistered meaning, Unregistered words.